

暑中お見舞い申し上げます

河辺林通信

建部北町の森から

2025年 08月号 No.328

↑暑い夏は木陰でのんびりがおすすめです

初夏、中学生も社会人も森の中でにっこり◎

草津市にある中学2年生1クラス33名が来訪してくれました。職場体験に行く前に、様々な「仕事」を知るための校外学習のようで、森の話、森たんけん、伐採木のマグネットづくりを行いました。話は必要最低限にし、森の中へ出発。クイズや草花あそび、いきもの探しを通じて、この森のことや身近な生き物のことを知ってもらいました。教室では見せないイキイキとした姿を見せてくれた子や「森っていいなあ」というつぶやきも聞けました。カニ探しにオオバコ相撲、ササでは舟づくりに音ならし。想像以上に興味を持って活動してくれ嬉しかったです。



また別の日には、東近江市の1.2年目の職員さんの1グループがメンター研修で森に来てくださいました。保全活動のこと、森のこと、東近江市と遊林会の協働について知りたいとのことで、講義と林内案内、プチ保全活動、伐採木を使ったクラフトをし、自然を守りながら、自然を活用することを体験してもらいました。普段は違うところでお仕事されていることもあり、少し距離があった皆さん。林内に行く前に自然のものを取り入れた自己紹介をしたのですが、みなさんユニークな自己紹介で一気に笑顔があふれました。自然は人と人を近づけてくれるなと改めて実感させてもらいました。

その日の活動を
「歳時記」で紹介
しています→



モリイコ！の子どもたち

→川に入つていきもの探し。「ガサガサ」で色々つかまえました。



→どんこ、サワガニ、ザリガニには実際にさわってみました。



←川でつかまえたいきものは水槽に
いれて観察会。

←笹舟をつくらせて竹の滑り台で
流してみました



モリイコ！ 第3回

目のテーマは「川あそび」でした。森の近くの川に入ると「冷た〜い！」と歓声があがっていました。つかまえたいきものを観察したり、実際にさわってみたり。また、笹舟づくりにも挑戦しました。

詳しい活動内容は森の歳時記へ！



● 7月の作業だより

第2土曜日（7月12日）

14名での活動となりました。
「ネイチャーセンター裏の水辺の藻取り」と「モミジの林の枯木処理と間引き剪定」を行いました。



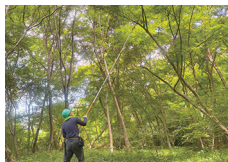
藻をレーキで集めます



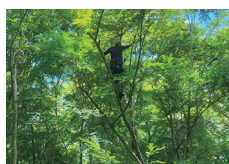
ここが一番大事な所！



水の流れもよくスッキリ♪



高枝ノコギリで枯木処理



高い所は木に登って



親子で木の切り分け

第3木曜日（7月17日）

11名での活動となりました。
本日は午前中の作業。伐倒木(丸太、太枝)の運び出し・整理、柴づくりを行いました。



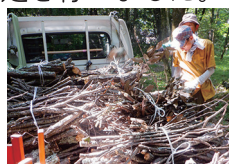
力自慢の方々



もくもくと柴づくり

第4水曜日（7月23日）

16名での活動となりました。
本日は午前中の作業。伐倒木の枝先回収・柴づくり、モミジの林の間引き剪定を行いました。



軽トラいっぱい柴完成！



紅葉の時期が楽しみです

2025年8月の定例活動日

8/9 (土)	・観察会（9:00~10:00） ・林内整備など (10:00~12:00)
8/21 (木)	・林内整備など (9:00~12:00) お昼はご準備いたします
8/27 (水)	・林内整備など (9:00~12:00) お昼はご準備いたします

- 内容については、事前にFacebookにて告知させていただいております。
- 天候や気温などの状況によっては、中止や時間短縮になる場合もございます。中止の場合は、ホームページやFacebookでお知らせします。

● 7月の観察会

今回のテーマは「クモとクモの巣」でした。観察会をするにあたり、色々と調べる中でクモは長年嫌われてきていることを知りました。その見た目やクモの巣の不快感など、それなりに理由はありますが、面白いこともたくさんあることが分かりました。私もクモに対して「こわい」という印象を持っていましたが、可愛いクモ（ハエトリグモ）がいることを知り、クモへの扉が開きました。クモの巣にも色んなタイプがあり、霧吹きで水を吹きかけて観察をしました。暑い季節なので、涼も感じられて良かったです。

参加者からは「まだこわいけど、おもしろかった」、「少し好きになりました」などポジティブな感想をいただくことができました。



● 近江商人博物館の企画展「猿尾」

7月の河辺林通信では、琵琶湖博物館の第33回企画展示「川を描く、川をつくる」で河辺いきものの森の猿尾（サルオ）が紹介されているとお伝えしましたが、東近江市の近江商人博物館では更に猿尾に焦点を当て企画展を開催されておられます。

猿尾とは、大規模な護岸工事やダムがなかった時代に村への洪水被害を抑えるために利用されていた小さな堤防です。愛知川沿いには、この猿尾がまだ現存しており調査により確認されたものをまとめて近江商人博物館で紹介されています。展示だけでなく、猿尾をより体験できるワークショップも開催される予定です！

近江商人博物館の
HPIはこちらから→



遊林会 最新情報 発信中！

保全活動の様子やイベント情報など、最新情報を発信しています！ぜひフォローやお友達登録してくださいね！



<http://www.yurinkai.org/>



@satoyama.yurinkai



@4850oqnn



nunobikinomori

編集後記

「まいにちまいにち ぼくらはてっぱんのういで やかれて いやになっちゃうよ♪」 たいやきくんの気持ちが分かる今日この頃。20代の頃は日焼け止めも塗らなかったり、塗ったとしても適当に塗っていたり、紫外線を甘く見ていました。最近は目から入る紫外線対策としてサングラスの購入を考えていますが、なかなか決められません。早くしないと、目が目が〜（長谷川）

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp